

長村のデジタル打法には、隠されていいる!?



優勝した長村には賞金150万円に加えて、副賞として株マツオカメカトロニクスより全自動卓が贈られた。



後列左から、馬場裕一、はまのらま、岸上寛、五十嵐毅、永田靖之、穴澤晃一、原浩明、伊藤優孝。前列左から、伊東大作、先崎学、玄田哲章、城島清貴、加藤勝久、近藤良彦、荒正義、長村大。

優勝	長村 大	+63.3
準優勝	先崎 学	+13.7
第3位	原 浩明	△10.6
第4位	馬場裕一	△66.4

第11回麻雀最強戦本大会 優勝者当てクイズ結果発表!!

確定5-6

近麻」2・1号「第11回麻雀最強戦本大会大胆予想」にたくさんのご応募いただき誠にありがとうございます。確定優勝「5枠」長村大プロ。準優勝「6枠」先崎学さんで、5-6が的中でした。栄えある当選者は、大阪府の清水君さん。香港・マカオ、ペア旅行チケットをお送りいたします。おめでとうございます。

しかし原は現在トップ。この手牌をタンバン三色に仕上げる必要はない。それよりも2着目、先崎の親を流してしまつことこそ、この局のテ



このマンガンを原から直撃することができたら、ここで逆転に成功する。一時は3万点以上も差があった原のことを。この局、原にも絶好のイーシャンテンが入っていた。

手の中にドラアンコが隠れた早いテンパイ。この手牌は誰からでも出てきそうだ。



次のチャンスが長村を訪れたのは南1局だった。【發】をポンして、5巡目にテンパイ。

長村は幸運な復活を遂げた。
* * *

南1局だった。【發】をポンして、5巡目にテンパイ。

一発ツモは【東】。
長村は幸運な復活を遂げた。
* * *

一マダラ。

原と長村はいわゆるデジタル雀士だ。麻雀をツキや流れの勝負だと思わず、合理的な打牌を続けていくことを信念としている。

そんな原が半荘を通して同じスジが勝負を左右するなどと考えるはず

もなかつた。

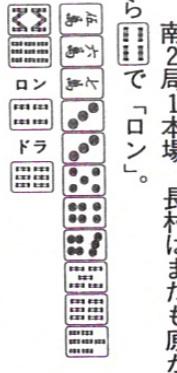
先ほどの手牌から、原は【東】をポンしてテンパイに取った。そこで切り出された牌が【東】。

長村は原を直撃して、逆転に成功した。

南2局1本場、長村はまたも原か

ら【東】で「ロン」。

今度は自分が原を1万点以上リードすることとなつた。それをそのまま守り切り、長村はビッグタイトルを手にした。



この決勝で原と長村の明暗を分けた【東】。デジタル雀士を結んだ

不思議な因縁といえそうだ。
しかし「デジタルの申し子」と呼ばれる長村、「すべての情報は卓上にあり」を連載記事のキャッチコピーとする原、この2人とも、そこに生じた因縁を認めることはないだろう。それは偶然にすぎないと。